

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市PR事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060101000948
						単独/補助	単独	所属課	010101
政策体系	総合計画の施策名		0601 市民協働のまちづくり						秘書広報課
	政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						課長名
	施策名		01 市民協働のまちづくり						グループ
	手段名		01 ①広報広聴の充実						担当者名
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	04	01	00	広報広聴事業		
法令根拠	さくらがわ応援大使設置要綱								
	[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)								

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>他自治体等に桜川市の特産品をPRのための特産品を用意し、特産品を活用して市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図る。</li> <li>H28年度は、さくらがわ応援大使設置要綱を策定。</li> <li>H29年度は、6名のさくらがわ応援大使の委嘱を行い、大使のPR活動を支援。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>さくらがわ応援大使や他自治体等に、桜川市の特産品をPRのための特産品を用意し、特産品を活用して市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図った。</li> <li>H28年度は、さくらがわ応援大使設置要綱を策定。</li> <li>H29年度は、6名のさくらがわ応援大使の委嘱を行い、大使のPR活動を支援した。</li> </ul>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>PR用の特産品の用意する。</li> <li>県人会の会場で、特産品をPRする。</li> <li>さくらがわ応援大使設置要綱の策定し、さくらがわ応援大使の候補者の選定を行う。</li> </ul>	PRする特産品の数	品	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
	さくらがわ応援大使候補者数	人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>県民及び首都圏の人々</li> <li>さくらがわ応援大使</li> </ul>	首都圏の人口	千人	43,930.00	41,734.00	39,647.00	37,665.00	35,782.00	
	さくらがわ応援大使委嘱者数	人	6.00	6.00	7.00	8.00	9.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市の特産品を多くの人に知ってもらい、購入してもらおう。</li> <li>大使に市のPR活動を行ってもらおう。</li> </ul>	茨城県人会参加回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	特産品のPR回数	回	20.00	25.00	30.00	30.00	30.00	
	PR活動依頼回数	人	18.00	25.00	30.00	30.00	30.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)		
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	522	360	491
	事業費計(A)	千円	522	360	491	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	360	11 需用費	491
		合 計	360	合 計

事務事業名	桜川市PR事業	事務事業No.	60101000948	所属課	秘書広報課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度より、茨城県人会時の特産品のPRや市長が他の自治体に訪問する際に特産品のPRをするために始まった。平成29年度より県人会時の特産品のPRは商工観光課で実施することになった。</li> <li>市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図るため、平成28年12月1日に「さくらがわ応援大使設置要綱」を策定した。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>市の特産品をPRするための事業なので、魅力と活力ある産業づくりに結びつく。</li> <li>大使に、市の魅力を広く全国にPRしてもらうことで、市の知名度向上及びイメージアップに繋がる。</li> </ul>
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市の特産品PRのために、公費を支出してPRすることは妥当である。</li> <li>大使に、市のPRをしてもらうために必要である。</li> </ul>
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>特産品の数が限られており向上の余地はない。</li> </ul>
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>市の特産品のPRができなくなる。</li> </ul>
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名   観光PR事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる <ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市の特産品をPRする事業であるため、観光関係の事業と連携ができる。</li> <li>大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。</li> </ul>
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体等を訪問した際の特産品のPRなので、削減の余地はない。</li> <li>大使には、PRのための名刺とPR品の支給のみなので、削減の余地はない。</li> </ul>
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市のPRするための事業なので、公平・公正である。</li> </ul>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本年度は、茨城県人会へ2回参加し特産品のPRを行った。また、市長が他の自治体を訪問した際に市の特産品をPRすることができました。大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。													
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる						
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善														
<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善														
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上	コスト		維持	削減	維持	増加	低下		○	
成果	向上	コスト													
	維持	削減	維持		増加										
	低下		○												
桜川市をPRする事業であるため、観光関係の事業と連携を図り、効率的なPRを目指す。時季によっては、お米や野菜、果物などの旬の特産品を用意して、有効性の高いPRを心掛ける。		(6) 事務事業優先度評価結果													
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <ul style="list-style-type: none"> <li>A: 継続 (現状維持)</li> <li>B: 継続 (改革改善を行う)</li> <li>C: 終了、廃止、休止</li> <li>D: 2次評価へ提出</li> </ul>	確認欄 <input type="checkbox"/>